

令和5年度第7回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会 議事録

日時・場所： 令和5年10月3日（火）13：30～15：00 教授会室

出席者： 井手理事長（議長）、宮川副理事長、小泉理事、松岡理事、中嶋理事、
須戸環境科学研究院長、山根先端工学研究院長、森下人間文化学研究院長、
古株人間看護学研究院長、村上環境科学部長、徳満工学部長、
市川人間文化学部長、伊丹人間看護学部長、澤野事務局次長
遠山委員、森委員、矢吹委員

事務局： 高木財務課長、寺村経営企画課長、川分学生・就職支援課長、郡田教務課長、
山中地域連携・研究支援課長、堀江高等専門学校開設準備室長、
前田課長補佐、高谷主査

第6回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会議事録（案）について、原案のとおり承認された。

議 題

審議事項

1 公立大学法人滋賀県立大学第4期中期計画（素案）について

寺村経営企画課長より資料に基づき説明があり、当該素案について意見を求められた。その結果、次のような意見が出され、引き続き学内で検討していくことが確認された。

[主な意見・質疑等]

・第4期中期計画として記載された内容については、すべて中期計画期間6年の間に実施するという認識でよいのか。

→その認識でよい。

・学部・学科再編について、教員の理解のためにもタイムスケジュールを示してほしい。

→大枠は1～2年で確定する必要があると考えている。

・学部単位等の大括りの入試とは、入学後の専門選択の導入として行うものなのか、入試形態の一部として実施するのか。

→中期計画の該当箇所は入試の簡素化を意図したものである。

・国際交流等の推進に関し、支援する人材を配置するなどして留学体制を整備する、といった文言を入れてほしい。

・入学料の見直し等について、「大学院内部進学者の入学料」と限定しない方がよいのではないのか。

・若手・女性教員の育成について、「育児中などの女性教員への支援員の配置」とあるが、内容について具体的に教えてほしい。また、休んでいる教員以外への支援だと理解してかまわないか。

・高専の中期計画にある「意欲的で優秀な学生確保」については、大学の計画においてもどこかに設けるべきではないのか。

・高専において、地域社会への実装に向けた共同研究を企業と行うというのは可能なのか。文言等の工夫が必要ではないか。

・大学間連携については、何のために連携をするのかといった目的の記載があった方がよいのではないのか。

→今回いただいた意見は参考にするが、よい文言あれば具体的に提案してほしい。また、後日、学内への意見照会も行う。

報告事項

- 1 学生の退学・休学・復学・除籍について
小泉教育・学生支援担当理事から資料に基づき報告があった。
- 2 令和5年度卒業・修了予定者の進路内定状況等について
川分学生・就職支援課長から資料に基づき報告があった。
- 3 人事異動について
理事長および澤野事務局次長から資料に基づき報告があった。
- 4 各委員会等の結果の概要について
 - (1) 令和5年度第3回将来構想委員会
 - (2) 令和5年度第1回男女共同参画推進本部員会議
 - (3) 令和5年度第6回衛生委員会
 - (4) 令和5年度第4回入試委員会

